

# ウィークリー・マーケット・ ダイレクション (2024年9月30日～10月4日)



**Amundi**  
Investment Solutions

Trust must be earned



“今年はFRBの利下げ期待や地政学的緊張の高まりを背景に、金が輝きを増しています。全体的な分散投資\*アプローチの下で、金はポートフォリオの強靭性の源泉として活用できる可能性があります。”

モニカ・ディフェンド  
アムンディ・インベストメント・インスティテュート・ヘッド

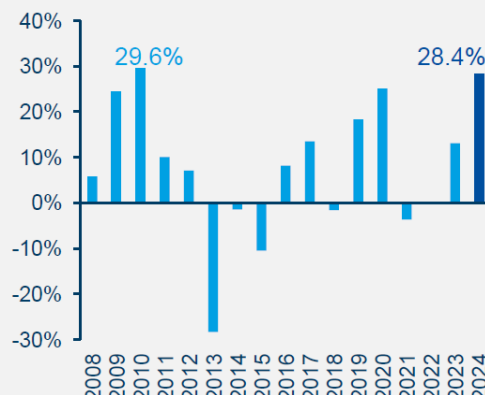
## 金の輝きなお健在

金融政策が緩和に向かい、国際対立を巡るリスクが高まるなか、金価格は大幅に上昇しています。

しかし、市場の利下げ観測に変化が生じれば、短期的に金のボラティリティが高まる可能性があります。

経済成長が低迷するなか、金はポートフォリオに安定性をもたらす可能性があります。

今年の金相場は2008年以降で2番目の伸び



出所：ブルームバーグのデータを基にアムンディ・インベストメント・インスティテュートが作成（2024年10月3日現在）。年間リターン。2024年のデータは現在までのもの。

金（ゴールド）価格は今年に入ってから大幅に（28.4%）上昇しており、その上昇幅はS&P500（約20%）を優に上回っています。値動きは力強く、金は世界金融危機以降で2番目に高い年間パフォーマンスを記録しそうな勢いです。価格上昇の背景には、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げで非利回り資産である金の魅力が増していること、中東などで地政学的緊張が高まっていること、各国中央銀行が金を買入れていることなど複数の要因があり、短期的にはこれらが相場の下支えになるとみられます。さらに、巨額の財政赤字や政府債務により、金の長期的な魅力が高まる可能性もあります。各国政府が収入を上回る過剰な支出を行えば、ドルなどの法定通貨が圧迫され、その過程でドルの購買力が低下する可能性があります。これは、インフレへの潜在的な懸念と相まって価値の貯蔵手段としての金の魅力を高める可能性があります。

## 実行可能な投資アイデア



### 金

経済成長が低迷し、世界的な緊張が高まるなか、金などの金属が有する安全資産としての魅力から恩恵を享受できる可能性があります。



### マルチアセット

低成長の経済環境下では、幅広い資産に分散投資\*するマルチアセット戦略により、ポートフォリオの安定性と成長が見込める分野との最適なバランスを保つことができます。

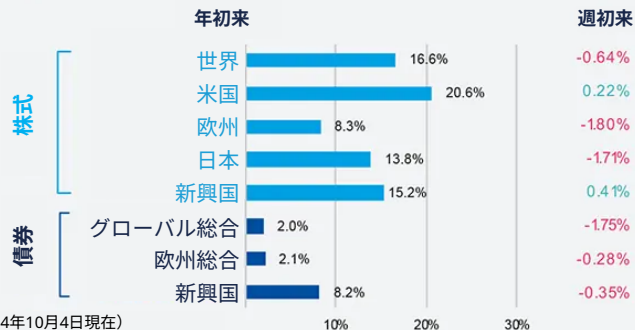
\*分散投資は利益を保証するものでも、損失を防止するものでもありません。

## 今週の市場動向

今週の株式市場は高安まちまちの展開となりましたが、原油価格は中東地域での緊張激化が懸念されたことで上昇しました。債券利回りは、良好な米経済指標を受けて市場がFRBの利下げ予想を見直したことで上昇し、これにより、今週はドル高も進行しました。

### 株式・債券市場

資産クラスの年初来、週初来のパフォーマンス



出所：ブルームバーグ（2024年10月4日現在）  
各指標の補足情報については最終ページをご覧ください。

### 国債利回り

2年物、10年物国債利回りと直近1週間の変化

	2年物	10年物
米国	3.92 ▲	3.97 ▲
ドイツ	2.20 ▲	2.21 ▲
フランス	2.40 ▲	2.99 ▲
イタリア	2.59 ▲	3.51 ▲
英国	4.13 ▲	4.13 ▲
日本	0.36 ▲	0.88 ▲

出所：ブルームバーグ（2024年10月4日現在）  
直近1週間の変化を示したものを。補足情報については最終ページをご覧ください。

### コモディティ、為替、短期金利

金 (ゴールド) 米ドル/オンス	原油 米ドル/バレル	ユーロ/ 米ドル	米ドル/ 日本円	英ポンド/ 米ドル	米ドル/ 人民元	EURIBOR 3ヵ月	T-Bill 3ヵ月
2653.60	74.38	1.10	148.70	1.31	7.02	3.25	4.62
-0.2%	+9.1%	-1.7%	+4.6%	-1.9%	+0.1%		

出所：ブルームバーグ（2024年10月4日現在）  
直近1週間の変化を示したものを。補足情報については最終ページをご覧ください。

## 各地域のマクロ経済動向

### 南北アメリカ



#### 米国サービス業は引き続き好調

9月の米サプライマネジメント協会（ISM）の非製造業景況感指数（サービス業の先行指標）は予想を上回る結果となりました。同指数の多くのサブ項目が景気拡大を示していますが、一部に例外もあります。新規受注や企業活動が伸びた一方で、雇用は悪化しており、労働市場が一段と軟化することが予想されます。米国の経済活動への注視を続けるなか、雇用情勢は当社にとって引き続き重要な要素となっています。

### 欧州



#### 9月のユーロ圏景況感は強弱まちまち

9月の購買担当者景気指数（PMI）確報値は前月比で低下しましたが、それでも速報値を上回る内容となりました。製造業指数からは低迷が長期化していることが示唆されますが、サービス業指数は50を上回り、サービス業の拡大が続いていることがうかがえます。これらの指標は、年後半の経済成長が小幅にとどまるという当社の見方と一致します。

### アジア



#### 中国の財政刺激策に注目が集まる

中国人民銀行の発表を受け、市場では政府の財政刺激策により経済活動が中期的に下支えされるとの見方が出ています。市場は「黄金週」後の1週間（10月8日～15日）に何らかの発表があると予想しており、この期間が特に注目されます。今後実施が見込まれる刺激策が实体经济に与える影響を見極めるべく、当社では状況を注視し続ける方針です。

この日  
に注目



10月9日

FOMC議事録、  
インド準備銀行政  
策金利

10月10日

米国CPI、米国新規  
失業保険申請件数

10月11日

ドイツCPI、英国GDP、  
韓国銀行政策金利

Amundi  
Investment Solutions

当資料のご使用に際し、必ず最終ページをご覧ください。

## 備考

ページ2

### 株式・債券市場（チャート）

出所：ブルームバーグ。各市場の指標として次の指数を使用しています。世界株=MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース）、米国株=S&P 500（米ドルベース）、欧州株=欧州 Stocks 600（ユーロベース）、日本株=TOPIX（円ベース）、新興国株=MSCI新興国（米ドルベース）、グローバル総合=ブルームバーグ・グローバル総合（米ドルベース）、欧州総合=ブルームバーグ欧州総合（ユーロベース）、新興国債券=JPモルガンEMBI グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）

すべての指数はスポット価格で計算されており、手数料および税金控除前の数値となっています。

### 国債利回り（テーブル）、コモディティ、為替、短期金利

出所：ブルームバーグ（2024年10月4日現在）。チャートではグローバル債券はブルームバーグ・グローバル総合債券インデックス、グローバル株式はMSCIワールド（両指数とも現地通貨ベース）で示されています。

\*分散投資は利益を保証するものでも、損失を防止するものでもありません。

## IMPORTANT INFORMATION

This document is solely for informational purposes.

This document does not constitute an offer to sell, a solicitation of an offer to buy, or a recommendation of any security or any other product or service. Any securities, products, or services referenced may not be registered for sale with the relevant authority in your jurisdiction and may not be regulated or supervised by any governmental or similar authority in your jurisdiction.

Any information contained in this document may only be used for your internal use, may not be reproduced or disseminated in any form and may not be used as a basis for or a component of any financial instruments or products or indices.

Furthermore, nothing in this document is intended to provide tax, legal, or investment advice.

Unless otherwise stated, all information contained in this document is from Amundi Asset Management SAS and is as of **4 October 2024**. Diversification does not guarantee a profit or protect against a loss. This document is provided on an “as is” basis and the user of this information assumes the entire risk of any use made of this information. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance analysis, forecast or prediction. The views expressed regarding market and economic trends are those of the author and not necessarily Amundi Asset Management SAS and are subject to change at any time based on market and other conditions, and there can be no assurance that countries, markets or sectors will perform as expected. These views should not be relied upon as investment advice, a security recommendation, or as an indication of trading for any Amundi product.

Investment involves risks, including market, political, liquidity and currency risks.

Furthermore, in no event shall any person involved in the production of this document have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential (including, without limitation, lost profits) or any other damages.

Date of first use: **4 October 2024**.

Doc ID: 3914628

Document issued by Amundi Asset Management, “société par actions simplifiée”- SAS with a capital of €1,143,615,555 - Portfolio manager regulated by the AMF under number GP04000036 - Head office: 90-93 boulevard Pasteur - 75015 Paris - France - 437 574 452 RCS Paris - [www.amundi.com](http://www.amundi.com)

Photo credit: ©iStock/Getty Images Plus

MSCI Disclaimer available [here](#)

当資料は、アムンディ・インベストメント・インスティテュートが一般・参考情報の提供を目的として作成した資料を、アムンディ・ジャパン（以下、弊社）が一部翻訳したものです。当資料は、当資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入・売却の勧誘を目的としたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料中に記載したアムンディ・インベストメント・インスティテュートの見通し、予測、予想意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。当資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。弊社の許可なく、当資料を複製または再配布することはできません。当資料中に引用した各インデックス（指数）の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。

商号等：アムンディ・ジャパン株式会社（金融商品取引業者） 関東財務局長（金商）第350号  
加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

(3926022)